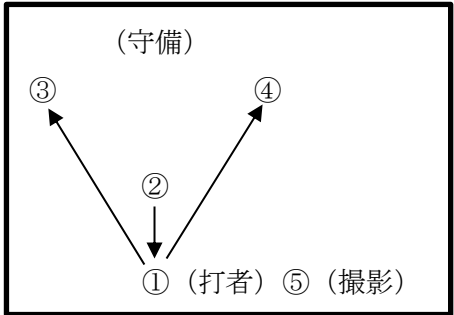


○本時の指導目標（単元構造図と整合性を図る。）

- ・タイミングよくバットを振り、ねらった方向に打つことができるようにする。（技能）

○学習の展開（学習指導過程）

	学習内容・活動	指導上の留意点・ ★評価規準（評価方法）	学習 形態
導入 8	○健康観察・準備体操・リズムウォームアップ・キャッチボール・前時の復習を行う。	○怪我を未然に防止するために、一緒に準備運動を行い、伸ばしている箇所を意識するよう促す。	一斉
	○本時のねらいの確認	○リズムを意識してソフトボールの動きに繋がれるようにするために、音楽を用いてリズム間隔を養う。	
	めあて タイミングよくバットを振り、ねらった方向に打つことができるようにする。		
展開 35	○チームミーティング（10分） ・チームごとで、事前に撮影した動画を見て課題を確認する。 ・ビフォー映像と模範演技の比較 ・課題をワークシートに記入	○打撃練習をスムーズに進めるために、動きの説明を行い、交代等をスムーズに行う。 ○自分で課題を確認することができるように、ビフォー映像を見る時間を設定して比較を行い、ワークシートに記入する時間を設定する。	グループ
	○打撃練習（15分間） ・5人のチームを3つ、4人のチームを1つ作る。1人が下手から投げ、そのボールを打つ。後ろの2名が守備を行い、1人が横から撮影する。 ・投げ手は交代で行い、1人5球ずつ打撃を行う。①→②→③→④→⑤→①のローテーションで回す。 ・投げ手の動きで、腕を下げたら1、ボールを投げたら2、打つときに3というリズムで打撃を行う。 ・目標はタイミングよくバットを振り、ねらった方向に打つことができるようになることであると理解する。	 ○安全に練習ができるようにするために、間隔をとって打撃する場を設定する。 ○前時までに学習した守備も練習するために、打球をとるときの態勢などの呼びかけをする。 ○打撃についての感覚や上手くいったことなどを共有するために、練習後にチームで話し合う。 ★タイミングよくバットを振り、ねらった方向に打つことができるようにする。（様相観察）	
	○ミニゲーム（10分間） ・打撃練習のグループでミニゲームを行う。 ・1人6球ずつ打撃を行い、左と右に3球ずつ打ち分ける。 ・打ち分けることができた分を1点とし、チーム戦で合計得点を競う。	○タイミングよくバットを振り、ねらった方向に打つことができるように、練習で行ったことを思い出しながらミニゲームをする。	グループ

	・打撃練習で意識したポイントを活用してミニゲームを行う。		
まとめ 7	5. 本時のまとめ・次回の予告 ・振り返りシートを用いて授業の振り返りを行う。 ・次回の予告を聞いて、授業内容の確認をする。	○打撃の習得につなげるために、振り返りシートを用いて本時で学んだことの振り返りを行い、今後の授業でも継続して取り組んでいくことを確認する。	